

M S S A

一般社団法人 宮城県警備業協会
〒981-3105 仙台市泉区天神沢一丁目4番11号
Tel. 022-371-0310 FAX 022-773-6466
info@mssa.jp
http://www.mssa.jp



令和5年11月20日

宮城県警備業協会 会員の皆様へ

「犯罪被害者週間・県民のつどい」への参加結果について（ご連絡）

令和5年11月16日（木）日立システムズホールにおいて開催された犯罪被害者週間・県民のつどいに参加いたしました。

「児童生徒に対する被害者支援」と題して毎日新聞記者川名壮志氏が講演しました。

令和5年11月16日(木)
13:00～16:30
日立システムズホール仙台「シアターホール」

犯罪被害者週間・県民のつどい

公開講演会

～児童生徒等に対する被害者支援～

開催の趣旨
警察庁主催の「全国犯罪被害者週間」行事の一つとして、より多くの県民の皆様に犯罪被害者支援活動についてご理解を頂き、犯罪被害者支援意識の高揚を図ることを目的に、公開講演会を開催するもので、今年で19回目を迎えます。
本年は、「児童生徒等に対する被害者支援」をテーマとして掲げ、この「県民のつどい」を被害者支援の必要性を強く訴える機会にしたいと考えております。

講師のご紹介

講師：川名 壮志氏（毎日新聞社東京本社記者）

講師の川名氏は、大学卒業後、毎日新聞社記者となり、長崎県佐世保支局に赴任されました。同支局に勤務していた2004年（平成16年）6月に、長崎県佐世保市内の小学校で、当時6年生の女子児童が同級生の女子児童をカッターナイフで殺害するという大変ショッキングな事件が発生しました。この事件は、その後学校内における安全対策や、児童に対する命の大切さの教育の在り方等に警鐘を与えるなど、社会的反響の大きな事件でした。

また、川名氏にとっては、被害児童の父親は高層の上司に当たる佐世保支局長であり、被害児童とは家族同様の付き合いがあったという特異な関係の中で、取材に当たらなければなりません。川名氏は、被害者家族の苦しみや辛さを誰よりも身近で見ていたことから、取材にあたることの葛藤や被害者家族との向き合い方について非常に悩み、苦しんだそうです。

現在は、その経験に基づき、被害児童生徒やその家族に対する支援の大切さなどについて、記者活動を続けながら各地で講演活動を行っております。

なお、著書として「謝るなら、いつでもおいで」「僕とぼく」（ともに新潮文庫）「密着 最高裁のしごと」「記者がひもとく「少年」事件史」を出版されております。



講師
川名 壮志氏

大切な命を守る作文コンクール受賞者



感謝状贈呈



一般社団法人宮城県警備業協会

専務理事 高橋 直嗣